

平成24年度事業計画書

1 公益目的事業の継続

広く臓器移植に関する知識の普及啓発及び臓器提供医療機関相互の協力体制の確立への助成等を行い、併せて臓器移植を推進するために必要な事業として、今年度より公益財団法人岐阜県ジン・アイバンク協会として、公益法人認定された。

さらなる信頼と責任ある地位を引き続き保持し、もって県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とした活動を継続する。

2 臓器提供発生時の対応

常勤の臓器移植コーディネーターによる各医療機関との調整、臓器提供希望者の家族に対して移植についての説明や承諾後の支援等、移植が適切かつ円滑に行えるよう努める。

3 移植医療に関する知識の普及啓発及び臓器提供意思表示の普及推進

移植医療は臓器提供があつて初めて成り立つことから、県民一人一人に移植医療に対する正しい理解を得られるよう各事業を行い、一般県民への普及啓発を進める。

(1) 平成22年7月17日に改正臓器移植法が施行後、県内では3例の脳死下臓器提供が実施され県民の意識が高まる中、市町村、関係医療機関及び関係団体等に関する周知を図る。

(2) 臓器移植普及推進月間キャンペーンの共催、支援

10月の全国臓器移植普及推進月間を中心に、保健所、市町村、関係団体等の協力を得て、街頭キャンペーンを展開し、移植医療への理解の呼びかけ、臓器提供意思表示カード、免許証、健康保険証等への意思表示の普及を図る。

(3) 支援団体等の普及啓発講座

支援団体から一般県民への普及啓発効果をねらうためライオンズクラブ、ロータリークラブ、国際ソロプチミスト等の支援団体に説明の機会を求めていく。

(4) メディア等を利用した普及啓発

岐阜県の現状についてラジオ等を通じて広報し、県民が移植医療について関心をもつよう働きかける。

(5) 臓器提供意思表示カードの設置、配布

県民が利用する場所への設置や、県内で開催されるイベント等での配布を行い、移植医療への理解を呼びかける。

・市町村庁舎、病院、学校、金融機関、薬局等におけるカードやポスターの設置を依頼する。

・成人式におけるカードの配布を各市町村に依頼する。

(6) 企業、団体、病院等が行うイベントに参加し、臓器移植普及啓発活動を行う。

4 移植医療従事者及び医療機関相互の協力体制の確立に関する援助

医療機関が移植医療に積極的に関与することを目的とする。

(1) 臓器提供病院内の臓器提供体制の整備と教育事業

- ・院内臓器提供連絡調整員に対して、移植医療に関する情報交換、事例検討等を行い、資質向上を目的に研修会を開催する。(年2回予定)
- ・院内臓器提供連絡調整員及び臓器提供に係る関係職員を対象に、シミュレーションやセミナー等を通じて各医療機関が移植医療へ積極的に関与できるよう働きかける。(年2回予定)
- ・各調整員の活動が活発化されるように、施設内での研修会、シミュレーション等の開催時にコーディネーターが参加し、講師派遣や病院の要望に応じた支援ができるよう研修会費用等の助成をする。
- ・県内医療機関に定期的にコーディネーターが訪問し、病院の院内体制整備、マニュアル改正等に関する協力要請に応える。
- ・角膜提供事例発生時に速やかに摘出医の派遣を依頼できるよう、摘出医療機関及び協力病院との連携を強化する。

(2) 移植医療普及活動

関係団体等が開催する研修会において、移植医師と連携し、移植医療についての正しい知識と理解を呼びかける。(対象者：医療関係者、腎臓移植希望者とその家族等)

5 腎臓移植希望者に対する支援

腎臓移植希望者の組織適合検査等の実施

平成24年4月～5月 平成24年度登録更新者の血清保存

平成24年4・10月 平成24年度新規登録と組織適合検査

6 その他

(1) 機関誌「ジン・アイバンク便り」の発行

県民や医療機関、支援団体等の方々に当協会の活動を理解していただくために、機関誌「ジン・アイバンク便り 第11号」を発行する。

(2) ホームページの運営

岐阜県における角膜、腎臓移植に関する情報を県民や医療機関の方々にお知らせできるよう、充実したホームページの作成に努める。

【ホームページアドレス】http://homepage2.nifty.com/gifu_jinaibank/

(3) 理事会・評議員会の開催

平成24年 6月 未定	第1回理事会開催
平成24年 6月 未定	第1回評議員会開催（理事会開催後2週間を目途）
平成25年 3月 未定	第2回理事会開催

(4) 賛助会員の募集

当協会の運営資金は賛助会費と県民の皆さまの寄附、県の委託費等により運営されているが、安定した資金の獲得には至っていない。今年度は、透析医会、眼科医会を中心に当協会の事業活動に対して理解し支援いただける賛助会員を募集する。

- 一口 10,000円以上・・・団体（市町村は人口割）
- 一口 2,000円以上・・・個人

(5) 募金活動

当協会の事業活動に対し一般の理解と支援を求めするため、関係医療機関、各事業所の協力を得て募金箱の設置活動を行う。

(6) 研修会への参加

全国アイバンク・腎バンク会議、(社)日本臓器移植ネットワーク定期連絡会議等へ協会職員を派遣し、各種情報の収集と臓器移植コーディネーターとしての研鑽に努める。

会議・研修会名	会場・期日
・臓器移植コーディネーター定期連絡会議	名古屋市 (毎月1回)
・脳死・脳蘇生学会	宮崎県 (平成24年5月)
・全国アイバンク連絡協議会	東京都 (平成24年7月)
・日本移植学会	名古屋市 (平成24年9月)
・中日本支部移植コーディネーター研修会	名古屋市 (未定)
・日本臨床腎移植学会	千葉県 (平成25年2月)
・都道府県移植コーディネーター研修会	東京都 (平成25年2月)
・中日本支部腎移植事例検討会	名古屋市 (平成25年2月)
・東海北陸地区アイバンク広域活動連絡会	石川県 (平成25年3月頃)